

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	平林晶
<b>全体計画</b>	令和 2年度	～	令和 5年度	<b>経費区分</b>	実施計画事業費	<b>内線</b>	3254				
<b>事務事業名</b>	14779 資源物回収施設整備事業										
<b>所 属</b>	121000 市民環境部・生活環境課										
<b>施 策</b>	13011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	<b>事業</b>	980000 資源物回収施設整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
容器包装リサイクル法に基づく、プラスチック製容器包装、ペットボトル及びガラスびんの一時保管及び中間処理（選別・減容処理を含む）、廃食用油の一時保管及び選別を行う施設「須崎市ストックヤード」の老朽化に伴う更新事業。						一般廃棄物の適正な処理は法律により市の責務であるが、そのうち容器包装リサイクル法に基づくことも市が行わなければならないものである。須崎市においては平成13年から協会経由でリサイクルをおこなっているが、設備の老朽化にともない稼働率が悪くなり効率だけではなく日常の処理に支障をきたしている。については、次代へ引き継がれる施設へ更新をおこなうべく事業を実施する。 なお、現在、高山村の同業務を受託をしているが、広域化による合理化もあわせて模索する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
処理量 びん 350,000kg ペットボトル 70,000kg プラスチック 470,000kg 廃食用油 7,200kg	
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し						
算式						単位	kg
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		9,460	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,460	0
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.0
総額		9,460.0	0.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,460	設計委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市が主体となり実施すべき事業を実施した	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	資源物回収施設設備の現状把握ができた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	提案型入札により効率性向上に努めた	

振り返り（決算年度の取組み課題）
資源化に必要な施設の現状把握ができた

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
プラスチックの一括回収の動向を注視するとともにストックヤードの今後のあり方について検討する必要がある。		1次評価と同様。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	